

本書の利用について

1 調査の目的

米穀生産者の米穀の供給高、消費高、販売高、現在高等の実態を把握し、食糧行政の基礎資料とすることを目的とする。

2 調査機関

農林水産省 ———— 地方農政局、地方農政事務所

3 調査対象

米穀の生産世帯（子実の生産を目的とした稲の延作付面積が10アール以上の農業経営を行う世帯等。（沖縄県を除く。））

4 調査項目

米穀の生産世帯における米穀の月別の供給高、消費高、販売高、現在高等。

なお、「農協等売」とは、生産調整方針を作成した出荷業者に販売した数量であり、「農協等以外売」とは、上記以外に販売した数量である。

また、「一人当り消費量」については、生産世帯で飯用として使用した米穀を生産世帯員数で除して算出したものであり、外食等は含まれていない。

5 調査方法

各都道府県における調査対象世帯（平成17年産の稲について作付面積が10アール以上の世帯のうち、面積等の申告があった196万戸）から、任意系統抽出法によって8,310戸の標本世帯を抽出し、あらかじめ調査票を配布して上記調査項目の記帳を求め、その結果を月ごとに取りまとめの上、都道府県別に月間の数量を推計した。

6 調査期間

平成17年11月から平成18年10月まで

7 その他

本書利用に当たっての問い合わせ等連絡先

農林水産省総合食料局食糧部計画課（生産調査班）

電話 03（3502）8111（内線5757、5761）